



# 横浜丸中青果でトップセールスを展開

## 組合長、市長、町長が大消費地へPR

白神青果物は、白神ねぎ、山うど、白神みょうがなどの産地として高く評価されていますが、今後さらなる発展を遂げようと、JAあきた白神と行政がタイアップして平成19年1月に名古屋中央卸売市場を訪れ、トップセールスをしたのをきっかけに、毎年首都圏などの大消費地へのPR活動を行っております。

8月29日には、JAあきた白神特産の「白神ねぎ」、「白神みょうが」を売り込もうと、佐藤組合長、齊藤能代市長、佐々木藤里町長が横浜市の横浜丸中青果を訪れトップセールスを実施しました。卸業者に試食品を振る舞い、販売促進の協力を呼び掛けました。トップセールスには、JA

あきた白神や全農あきた、能代市職員、ミス・フレッシュの浅野さんら12名が参加し、佐藤組合長、齊藤能代市長、佐々木藤里町長は、白神ねぎのはんてんを着て午前6時からPR活動をしました。

試食は、そうめん「白神ねぎ」、「白神みょうが」を薬味に使い提供しました。丸中青果の原田社長からも応援をいただき、15分ほどで用意した200食は無くなりました。全国の特産品の試食はよく行われますが、完食となったのは今回が初めてで、担当者の方も驚いていました。試食をした卸業者からその場で注文が入るなど、「白神ねぎ」、「白神みょうが」を十二分にPRできたトップセールスと